

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業		
事務事業名	「さかい子育て応援アプリ」を活用した待機児童解消事業		シート番号	014-119	
担当部署名	子ども青少年 局	子育て支援 部	待機児童対策室 課	評価責任者(課長名)	羽田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	1	子育て世帯への支援と負担の軽減	有
	2	事業開始年度	令和 1 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	市民サービスの向上及び待機児童の解消を図るため。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	・認定こども園などの利用申し込みを行ったが利用ができなかった保護者 ・認定こども園などの利用を検討する保護者				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	「さかい子育て応援アプリ」により認定こども園などの空き情報を配信することで、市民サービスの向上を図る。また、アプリの既存機能の地図情報を利用することで、今まで気づけなかった施設にも選択の範囲が広がり、待機児童解消を実現していく。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	認定こども園などの申し込みを行ったものの利用ができなかった保護者や認定こども園などの利用を検討する保護者に対して、「さかい子育て応援アプリ」により認定こども園などの空き情報を提供する。保護者は、窓口が開いていない時間や休日でも、時間を問わずいつでも認定こども園などの空き情報を調べることができる。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 民間事業者					

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11 事業費 (a)	千円	0	0	0	0	3,785	4,409	7,150
主な事業費内訳	賃金	千円				2,135	1,659	0
	委託料	千円				1,650	2,750	7,150
		千円						
		千円						
財源内訳	国・府支出金	千円				3,785	4,409	
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円						
	市債	千円						
	その他()	千円						
12 人件費 (b)	千円		0		0	2,510	2,940	4,850
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	0	0	6,295	7,349	12,000

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	「さかい子育て応援アプリ」を活用した待機児童解消事業	シート番号	014-119
-------	----------------------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	「さかい子育て応援アプリ」に認定こども園などの空き情報を提供する機能改修を実施した。アプリの既存機能の地図情報を利用することで、今まで気づかなかった施設にも選択の範囲が広がり、結果、令和2年4月1日の待機児童は過去最少の11名となった。						
	15	指標名【成果指標】	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		待機児童数	人	目標値			0	0
				実績値			11	11
				達成率			-	-
	評価					悪い	悪い	
	算出方法・設定根拠など		次年度の4月1日時点の待機児童数					
	16	指標名【成果指標】	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		アプリ「さかい子育て応援アプリ」のダウンロード数	件	目標値			18,500	22,500
				実績値			19,638	19,638
達成率						106%	106%	
評価					良い	良い		
算出方法・設定根拠など		本市の前年度の第1子出生数を実績値に上乘せ						

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	アプリ「さかい子育て応援アプリ」のダウンロード数	件			19,638
	②	上記①にかかる年間経費	千円			3,957
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			202
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	・目標の待機児童ゼロは達成できなかったが、「さかい子育て応援アプリ」により認定こども園などの空き情報を提供することで、令和2年4月1日時点の待機児童は過去最少11名となった。 ・認定こども園などの結果発送の通知封筒への印字、区役所でのチラシの配布や広報紙・ケーブルテレビへの掲載など、積極的に宣伝したことで、子育て世帯に広くアプリに興味を持ってもらうことができた。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	「さかい子育て応援アプリ」を活用した待機児童解消事業	シート番号	014-119
-------	----------------------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 待機児童が増加する。 また、現状より市民サービスは低下する。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 待機児童が増加する。 また、現状より市民サービスは低下する。 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 待機児童が増加する。 また、現状より市民サービスは低下する。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 アプリの活用によって、3密を避けることができています。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (子ども企画課) 関連事業名 (子育て支援情報発信事業) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 市民サービスの向上を図るべく、ICTの活用や他部局との連携を行っている。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 令和3年度に「さかい子育て応援アプリ」に保育施設と保護者をマッチングする機能追加を行う予定であるが、機能改修後の必要経費については、本体契約の運用保守費用のみのため、新たな費用は発生しない予定である。		